

2016年8月19日

各 位

株式会社伊豆シャボテン公園  
企画広報部 TEL: 0557-51-1115

## 伊豆シャボテン公園

### 多肉植物「王犀角（おうさいかく）」の奇花が開花

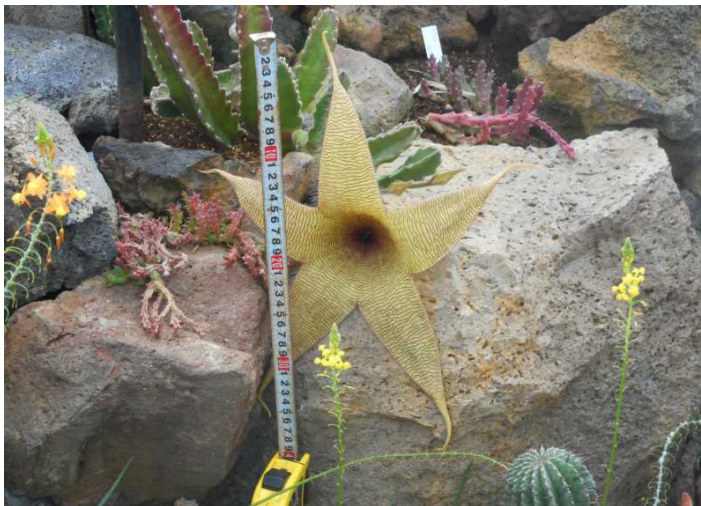
この度、伊豆シャボテン公園では、2016年8月18日（木）に、第2温室アフリカ館にある多肉植物「王犀角（おうさいかく）」の花径約35センチの巨大な花が開花いたしました。この花は開花してから4～5日間ほど観賞できます。

当園の「王犀角（おうさいかく）」は、第2温室に6株が植栽されております。今年は日当たりの良い環境下にあった株が、昨年より20日以上早く一番花を開花させました。現在、ほかの株も順調に生育しており、これから10月上旬頃にかけていくつかの蕾が順次開花する予定です。

「王犀角（おうさいかく）」は、南アフリカが原産地で、高さ20センチほどの四角柱状の茎は柔毛に覆われており一見サボテンに似ていますが、サボテン科ではなくキョウチクトウ科の多肉植物です。花芽は新芽部分の基部から伸びて1個から数個つき、花は5深裂の星形で、花径は30センチ前後から稀に40センチになるものもあります。この巨大な花は腐肉臭を放ち、臭いに誘われたハエ類などにより受粉を行います。日本では明治時代末頃に渡来したといわれていますが、花の臭いが敬遠されたためか一般的にはあまりなじみのない植物です。

今後も伊豆シャボテン公園では、お客様に珍しいサボテンや多肉植物をご覧いただけるよう、植物に関する情報を積極的に発信してまいります。

### 王犀角（おうさいかく）



※写真は8月18日（木）に撮影したものです。

- 和名 王犀角、大犀角（だいさいかく）
- 英名 *Stapelia gigantea*
- 科名 キョウチクトウ科（旧ガガイモ科）
- 原産地 南アフリカほか
- 特徴 学名の *gigantea* は「巨大な」という意味で、その名の通りスタペリア属の中では最大の花を咲かせる。腐肉臭を放つ虫媒花で、花の表面に生えた柔毛は風に反応して臭いを遠くまで運ぶ役割をしている。またクリーム色の地色に赤い横筋が入った花卉の様子は、動物がケガをして膿（うみ）が出ている様子を再現したものといわれている。

### 伊豆シャボテン公園



伊豆シャボテン公園

検索

URL [izushaboten.com](http://izushaboten.com) TEL 0557-51-1111